

早害凶作を背景とする協調組合の結成と反農民運動

早害凶作を背景とする協調組合の結成と反農民運動

昨年の大早害に際し地主小作人間に於て從來嘗て見なかつた協調的態度を以て農村非常時に警感せんとしたる事例は尠くなかつたのであるが、茲に擧げんとするのは、農民組合運動を中心の一つは其の侵入に對する協調組合の結成であり、一つは小作争議に際し農民組合脱退を解決條件とした反組合運動にして非常時農村平和運動の顯れと見るべきであらう。

一、地主小作人協調組合の結成

福岡縣下に於ける日農の中心勢力地帯とも稱すべき浮羽郡の一山間部落たる飯治村大字田籠區は僅に百戸内外の純朴なる農村で未だ嘗て小作争議の發生を見なかつたのである。然るに昨年の大早害凶作に因る小作料減額問題が郡内各村に發生し日農浮羽聯合會の擴大運動の爲前記田籠區に四名の組合員を獲得し田